

日本鉄鋼協会記事

理事会 (第7回)

日時: 11月27日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか20名.

報告事項 I. 第9回編集委員会に関する件. II. 第7回企画委員会に関する件. III. 第8回研究委員会に関する件. IV. 試験高炉委員会に関する件. V. 共同研究会第2回運営委員会に関する件. VI. 第1回特別資金運営委員会に関する件.

協議事項 I. 標準化委員会に関する件. II. 編集委員委員委嘱の件. III. 表彰奨励選考小委員会委員委嘱の件. IV. 経理の暫定措置に関する件. V. 東海支部規則一部改正承認並びに昭和39年度支部補助金交付に関する件. VI. 10月中入退会その他会員異動に関する件.

理事会 (第8回)

日時: 12月22日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか23名.

報告事項 I. 第10回編集委員会に関する件. II. 第8回企画委員会に関する件. III. 第9回研究委員会に関する件. IV. 標準化委員会に関する件. V. 本年度実行予算および明年度収支予算に関する件. VI. 創立50周年記念事業委員会に関する件. VII. クリープ委員会に関する件.

協議事項 I. 次期役員候補者選考委員委嘱に関する件. II. 次期表彰候補者選考委員委嘱に関する件. III. 鉄鋼生産設備能力調査委員会に関する件. IV. 熱管理法存続要望書提出に関する件. V. 第5回「工業材料展」協賛に関する件. VI. 11月中入退会その他会員異動に関する件. VII. 11月中収支決算に関する件.

編集委員会

第9回委員会 日時: 11月20日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 佐藤委員長ほか23名.

報告事項 I. 会誌第13号(11月号)の完成および14号(12号)の完成予定について. II. 編集委員委嘱について(前田一徳君). III. 訪英鉄鋼視察団報告書刊行について. IV. ソ連文献翻訳刊行について. V. 日本ベアリング工業会よりの技術資料掲載依頼について. VI. 明年春季講演大会講演論文申込について.

協議事項 I. 寄稿論文の審査. II. 「鉄と鋼」原稿審査用紙について. III. 明年春季講演大会見学先の選定. IV. 講演用スライド作成について. V. Association Book Publishers Ltd. より出版物カタログ掲載依頼について.

第10回委員会 12月10日 10:00 開会. 場所: 川崎製鉄目白荘. 出席者: 雀部理事ほか25名.

報告事項 I. 会誌第50年第14号(12月号)および第51年第1号(1月号)完成予定について. II. 第二回理工学における同位元素研究発表会特別講演およびパネル討論会テーマ推薦について. IV. 会誌第1号特別講演原稿追加掲載について.

協議事項 I. 春季講演大会講演論文原稿の審査およ

び講演プログラムの論成. II. 投稿論文早期掲載依頼について. III. 「鉄と鋼」掲載論文抜萃転載許可依頼について.

企画委員会

第7回委員会 日時: 11月17日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 伊木委員長ほか17名.

議題 I. 表彰奨励選考小委員会の報告. II. 会員1万名拡充運動について. III. 協会の経理状況について. IV. 50周年記念祝典の外国人招待者について. V. 東大生研1t高炉の第16次操業の計画および経費について. VI. 工業デザインと材料協会(仮称)について.

第8回委員会 日時: 12月16日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 伊木委員長ほか14名.

議題 I. 本年度下半期実行予算および明年度収支予算について. II. 第6回藤原賞受賞候補者推薦について. III. 第5回工業材料展協賛について. IV. 50周年記念事業について.

研究委員会

第8回委員会 日時: 11月18日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 村田委員長ほか16名.

議題 I. 東大生研1t高炉の第16回操業計画について. II. 設備共同研究について. III. 標準化委員会について. IV. 鉄鋼基礎共同研究について. V. 金属研究の将来の推進について. VI. 50周年記念祝典の外国人招待について. VII. 同位元素の研究発表会のパネル討論会テーマについて.

第9回委員会 日時: 12月11日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 村田委員長ほか12名.

議題 I. 鉄鋼基礎共同研究について. II. 設備共同研究について. III. 標準化委員会について. IV. 標準試料整備資金計画について.

編集委員委嘱 編集委員が次の通り追加委嘱された.
前田一徳君(日本鋼管技術部)

表彰奨励候補選考小委員会委員委嘱 企画委員会の表彰奨励候補選考小委員会委員に次の諸氏が委嘱された.
委員長 伊木常世君(トピー工業)

委員

加藤 健君(八幡製鉄) 久芳正義君(富士製鉄)
原 淳君(日本鋼管) 佐藤真住君(通産省重工業局)
中村正久君(東京工大) 阿部秀夫君(東京大学)
荒木 透君(金材技研) 吉田道一君(鉄鋼協会)

表彰選考委員会委員委嘱 表彰選考委員会の委員に次の諸氏が委嘱された.

委員長 湯川正夫君(会長)

委員 芹沢正雄君(副会長) 作井誠太君(副会長)
伊木常世君, 村田 巖君, 雀部高雄君
三島徳七君, 山岡 武君, 塩沢正一君
木寺 淳君

役員選考委員会委員委嘱 役員選考委員会の委員に次の諸氏が委嘱された.

湯川正夫君(会長) 芹沢正雄君(副会長)
 作井誠太君(副会長)
 松下長久君 三島徳七君 山岡 武君 田中清治君
 伊藤 隆君 沢村 宏君 角野尚徳君 塩沢正一君
 浅田長平君

共 同 研 究 会

運 営 委 員 会

第2回委員会 開催日: 11月21日. 場所: 協会会議室
 出席者: 湯川会長他21名.

議題・内容

1. 事務報告.
2. 各研究部会の経過報告.
3. 新研究題目について.
 圧延関係の加熱炉の設備能力算定法の検討を熱経
 済技術部会で行つてほしいむねの依頼があつた.
4. 設備技術共同研究について

製 鋼 部 会

第29回部会 開催日: 11月 6, 7 日. 場所: 愛知製鋼
 知多工場. 出席者: 井上部長他90名.

議題・内容

1. 鋼塊の欠陥防止対策に関する研究.
2. 酸素の有効利用に関する研究.
3. 連続製造に関する研究 (特別議題)

提出資料 24篇

注目すべきものとして, DH真空脱ガス法の操業結
 果報告, シェーキング・レードルの操業に関する報
 告があつた.

連続製造関係では

「パネ鋼ブルームの連続製造試験結果」

(八幡製鉄)

「連続製造ピレットと鑄型との間に生ずる空隙」

(住 金)

連続製造をテーマとして前後3回(八幡・神戸・住
 友)にわたって報告を聞いたが, 次回よりは新しい
 議題を取り上げたい.

第16回鑄型分科会 開催日: 11月 4, 5 日. 場所: 神
 戸国際会館(神戸製鋼主催). 出席者: 岡部主査他63名.

内 容

さきに決定の設備技術共研テーマ「鑄型設計」「鑄型
 管理」については, これを実施に移すべく, まず「鑄型
 設計に関するマニュアル作成小委員会(仮称)」を組織す
 ることを協議し, 賛成を得たので世話人の手によりメン
 バーの選定, 推薦などを行うこととなつた.

研究発表)

鑄型使用管理に関する研究

住友・和歌山, 鋼管・鶴見, 鋼管・水江, 神鋼・神
 戸, 八幡・八幡

鑄型材質に関する研究

八幡・八幡, 日鋼・室蘭, 住金・鋼管, 鋼管・川崎,
 川鉄・兵庫, 神鋼・神戸

鑄型および定盤の設計

神戸製鉄, 川鉄・千葉, 八幡・八幡

特別講演

「鋼塊用鑄型鑄造工場の機械化について」

川鉄・知多

鋼 板 部 会

第19回分塊分科会 開催日: 11月13, 14日, 場所: ト
 ピー工業(株) 豊橋製造所. 出席者: 鎌山主査他66名.

議 題

1. 共通議題

加熱時間の決定

- (1) 加熱時間の判定基準
- (2) 凝固率と加熱時間との関係
- (3) 凝固率と品質上の問題点

2. 工場見学

トピー工業(株)豊橋製造所の製鋼, 圧延工場

第18回厚板分科会 開催日: 11月 5, 6 日. 場所: 日
 本鋼管(株)鶴見製鉄所. 出席者: 吉田主査他47名.

議 題

1. 共通議題

厚板工場鋼板剪断について.

(1) 剪断能力向上のための作業方法, 設備の改善に
 ついて.

(2) 剪断作業に起因すると思われる鋼板の問題点お
 よびその対策について.

(3) マーキング作業の現状について.

(4) クーリングベッドの問題点について.

2. 自由議題および文献発表.

3. 工場見学 日本鋼管鶴見の厚板工場中心.

条 鋼 部 会

第17回中小形分科会 開催日: 11月11, 12日. 場所:
 日本鋼管(株)川崎製鉄所, 出席者: 北村主査他80名.

議題・内容

(1) テーマ研究

2グループに分れ発表討論を行なつた.

(a) ロール原単位の低減策と管理方式について.

(b) 結束作業の現状と合理化について.

(2) 自由研究

各社から加熱, 圧延, 精整作業の改善に関する研
 究結果の報告がなされ活発な質疑がなされた.

工場見学

日本特殊鋼大森工場, 特殊製鋼川崎工場

第19回線材分科会 開催日: 11月 19, 20 日. 場所:
 (株)神戸製鋼所, 支社会議室. 出席者: 浅田主査他24名

議 題

1. 工場作業実績表

2. 現場における品質(表面疵)管理法について.

3. 能率向上, 品質向上に対する問題.

4. 次回開催地について.

鋼 管 部 会

第3回部会 開催日: 11月27, 28日. 場所: 日本鋼管
 (株)川崎製鉄所, 富士三機鋼管(株)川崎工場. 出席者:

筒井主査他76名.

内 容

1. 共通議題

素材の受入管理について。

2. 特別議題

- (1) 継目無関係 加熱, 穿孔疵に関する自由討論
- (2) 溶接管関係
 - (a) 鋼種と溶接性について。
 - (b) 化学成分と溶接性の関係。
 - (c) 高周波溶接について。

3. 工場見学

上記2工場の製管工場を中心とした見学

熱経済技術部会

第29回部会 開催日: 11月12, 13日. 場所: 大同工業大学. 出席者: 河村部会長代理他70名.

議題・内容

1. 主な議題は次の通りである。

- (1) 鉄鋼工場のエネルギーバランス
- (2) タイルレキュペレータの使用実績とその劣化防止対策
- (3) 工場窯炉の媒煙防止に関する研究
- (4) 鋼材加熱炉内熱伝達係数の検討

このうち, (2), (3)については各社の貴重な経験の発表があり, また(4)については今後も研究を続けることになった。いずれも熱心なる討論が行なわれた。

2. 工場見学

- (1) 東海製鉄(株)
- (2) 大同製鋼(株)知多工場

調査部会

第16回部会 開催日: 11月9, 10日. 場所: 富士製鉄(株)室蘭製鉄所. 出席者: 木寺部会長他40名.

議題

運輸関係テーマによる第2回目の部会である。

1. 共通議題

- (1) 成品工場一仕分け工場一浜出し間運送分析
- (2) 工場内運搬の無軌道化
- (3) スクラップ荷役について。

2. パージライン調査団報告

3. 工場見学

富士製鉄(株)室蘭製鉄所の主として岸壁, 成品倉庫を中心とした見学

新技術開発部会

第19回真空冶金分科会 開催日: 11月13日. 場所: 協会会議室. 出席者: 井上主査他19名.

議題・内容

報告) Vacuum Degassing Conf. London '65に八幡(DH), 富士(R-H), 神戸(Bochmer)の3社が Papers を提出したこと, および当 Conferenceに当分科会から6名の delegation を派遣することになったことを報告。

発表)

- (1) R-H 法における操業上の2, 3の要因 (富士・広畑)
- (2) 真空アーク溶解法の研究(I) (大同・中研)

(3) 真空冶金用語集

(関東特殊製鋼)

その他) 井上主査は来春, 渡欧し, ドイツにて1カ年留学されるため, 次回に主査交替が行なわれる予定

鉄鋼分析部会

第15回部会 開催日: 11月13日. 場所: (株)神戸製鋼所 本社, 出席者: 池上部会長他42名.

議題

- 1. 前回議事録承認
- 2. 昭和39年度第1回運営委員会経過報告
- 3. 昭和39年度第2回共同研究会幹事会経過報告
- 4. 鉄鉱石分析分科会最終報告
- 5. 蛍光X線分析分科会経過報告
- 6. 発光分光分析 //
- 7. 鉄鋼S分析小委員会経過最終報告
- 8. 鉄鋼許容差 //
- 9. ISO/TC102/SC2 鉄鉱石化学分析分科会委員会第2回国際会議経過報告
- 10. 鋼中非金属介在物分析懇談会経過報告
- 11. 標準試料委員会

第5回発光分光分析分科会 開催日: 11月12日.

場所: (株)神戸製鋼所, 健康保険会館. 出席者: 池上部会長他41名.

内容

前の分科会で決定した共同実験について実験結果の集計および解析方法について検討を行なった。

この結果一応幹事会社(川鉄)の作った集計表に従うがなお特に異常の点につき各社持帰り検討することとなった。

第5回蛍光X線分析分科会 開催日: 11月11日.

場所: (株)神戸製鋼所, 健康保険会館. 出席者: 池上部会長他40名.

議題

- 1. JIS 原案鉄および鋼の蛍光X線分析方法の承認
- 2. // ステンレス鋼蛍光X線分析方法の作成準備および共同研究の推進
- 3. 蛍光X線分析用標準試料の作成検討
- 4. 装置のくり返し精度JMのまとめ方について。
- 5. 工場見学
神戸製鋼神戸工場, 中央研究所の分析設備関係

標準化委員会

第1回委員会 開催日: 11月4日. 場所: 協会会議室 出席者: 作井委員長他22名.

議題・内容

標準化委員会, 発足第1回のものである。

- 1. 幹事会経過報告
- 2. JIS 原案作成について
- 3. 規定および内規の検討
- 4. ISO-TC17参加の件

八幡の木山氏, 協会の吉田氏が出席するので日本が今後どのような形で参加すべきか検討してもらうこととした。

JIS原案“鋼材のチェック分析の許容変動”作成準備委員会 開催日: 11月13, 14日. 場所: トピー工業(株)豊橋製造所. 出席者: 鍵山主査他66名.

内 容

1. 共通議題

上記, JIS 原案の作成は住友金属を幹事会社として準備を進めているが作成にあたり基本的方針を決定するため主として在京鉄鋼会社委員による準備委員会を持つた.

この検討結果(およびアンケート)を基礎にして12月15日第1回の分科会を開催し本格的検討を行なう.

鉄鋼生産設備能力調査委員会

平炉設備分科会 開催日: 11月17日. 場所: 協会会議室. 出席者: 久主査他13名.

内 容

能力算定式(案)が主査より示され分科会としてこれを承認した.

厚板分科会 開催日: 11月7日. 場所: 協会会議室. 出席者: 吉田主査他10名.

内 容

先月行なわれた算定式見直し打合せの結果に基く算定値と実験値の比較および算定方式の最終的決定を行なつた.

転炉設備分科会 開催日: 11月9日. 場所: 協会会議室. 出席者: 石原主査他14名.

内 容

能力算定式(案)が主査より示され分科会として, これを承認した.

資 料 委 員 会

第15回委員会 開催日: 11月24日. 場所: 協会会議室. 出席者: 雀部委員長他12名.

内 容

1. Trans. B.I.S.I. の購入に関し, 英国鉄鋼協会の担当者からの書面による価格条件に不明な点があるため, 再び先方に照会して, これを明らかにしたので, 実施の手順を整えることとなつた.
2. 協会の調査・資料活動関係の予算を再検討する必要がある, これを今回と次回に分けて行つた. それにより次回, 具体的な予算配分を考えることになつた.

標準試料準備委員会

第1回委員会 開催日: 11月28日. 場所: 協会会議室. 出席者: 池上委員長他9名.

議題・内容

1. 第13回標準試料委員会提出原案について.
 - (1) 分析, 製造分科会主査委員について.

フェロアロイ関係について再度, フェロアロイ協会に問合せる事にして原案が作られた.

- (2) 資金計画について.

事務局で再度検討して委員会に提出することになつた.

試験高炉委員会

第3回委員会 開催日: 11月10日. 場所: 協会会議室. 出席者: 辻畑委員長他14名.

議題・内容

1. 第16次試験計画具体案について.
 - 幹事会原案通り次のように決つた.
 - (1) 炉内ガスの組成変化調査
 - (2) 試験炉の各種操業限界調査
 - (3) その他
2. 第16次試験予算について (新設設備, 設備改造, 運営費など)
3. その他
 - 住友和歌山, 河西氏より Bu. of. Minee の高圧試験高炉について報告があつた.

国内炭活用, 製鉄用コークス製造試験委員会

幹事会 開催日: 11月25日. 場所: 八幡製鉄(株)八幡製鉄所. 出席者: 沼委員長代理他12名.

試験高炉委員会

第5回幹事会 開催日: 11月4日. 場所: 協会会議室. 出席者: 辻畑委員長他8名.

クリープ委員会

幹事会 開催日: 11月5日. 場所: 協会会議室. 出席者: 俵, 作井両副委員長7他名.

クリープ試験合同委員会 開催日: 11月20日. 場所: 鉄鋼協会会議室. 出席者: 俵委員長他59名.

内 容

クリープ試験研究組合で派遣した欧米視察団の帰朝報告が, 団長平修二教授により詳細行なわれた. しかし訪問先の資料が未着のものもあり, 視察団の統一見解ではなく, 団長個人の見解で中間報告であることが述べられた. ついでプラハにおける国際シンポジウムに出席し講演をされた東大藤田教授よりその会議の様子が詳細報告された.

審議事項として38年度試験研究実施状況が試験担当会社より各々説明があり, 予定期日より遅れることが諒承された.

また39年度試験方案項目別細目案について担当幹事会社より各々説明があり, これを方案として取まとめるため技術委幹事会で作業することが諒承された.

鉄鋼の照射試験研究合同委員会

照射試験研究立会者連絡会 開催日：11月20日。
 場所：八幡製鉄熱海寮：出席者：長谷川委員長他16名。

内容

来年度ベルギーで行なわれる照射試験の立会者の勉強を主体とした以前のカプセル設計小委員会の業務を引き継ぎ事務的な連絡も行なう。

今回は ASTM A302B 鋼の照射試験データおよび照射脆化の予想に関する技術的検討および SERAI との契約上の問題点に関する検討を行なった。

設備技術協同研究に関する
 メーカーとの打合せ

開催日：11月24日。場所：協会会議室。出席者：村田研究委員長他13名。

内容

設備技術共同研究の発足に先だって、計器、弱電メーカーとその必要性、問題点、運営方法などについて懇談を行なった。

主旨には賛同であるが、運営方法になお問題点があり今後さらに検討を加えてもらいたいというのが大体の意向であつた。

支部記事

東海支部

支部規則一部変更本部の承認を得て次の通り変更された。

1. 支部規則第6条の次に次の1条を加える。
 第7条 かつて支部長であつた者は支部理事会および支部評議員会に出席して意見を開陳することができる。
2. 第7条以下は条を順次繰さげる。

新入会会員氏名

(昭和39年10月1日～10月31日)

正会員

井島 昇	住友金属工業(株)製鋼所
富岡 孝司	〃 〃
丸川 雄浄	〃 和歌山製鉄所
吉田 克磨	〃 〃
大浦 忍	富士製鉄(株)室蘭製鉄所
吉田 真	〃 〃
衣笠 雅普	日新製鋼(株)周南工場
和田 安正	〃 〃
沼沢 吉昭	〃 尼崎工場
原田 博之	東洋鋼鉄(株)下松工場
宮地 昭夫	〃 〃
宮西 健二	(株)日立製作所勝田工場
半田 圓	東大生産技術研究所
有茂 環	新川工業(株)
飯島 繁	日本電工(株)富山工場
石塚 幸雄	日軽アルミニウム工業(株)
井上 勝郎	八幡鋼管(株)
加藤 俊一	八戸高等専門学校
亀井 和之	臨港製鉄(株)
北崎 建次	愛鋼工業(株)
栗田 俊男	愛知製鋼(株)
田辺 泰治	臨港製鉄(株)
千野 博孝	八幡製鉄(株)東京研究所
仲摩 博至	〃 技術研究所
中川 仁治	臨港製鉄(株)
中村 昌平	日本鋼管(株)
長谷場純親	八幡鋼管(株)
伴 義雄	日曹製鋼(株)
広瀬 昇	新潟工業技術センター
真下善三郎	臨港製鉄(株)
松田 茂信	日曹製鋼(株)
松本竜太郎	八幡製鉄(株)東京研究所

山手 実	八幡製鉄(株)技術研究所
学生会員	
井手 敏三	芝浦工業大学金属工学科
永田 茂雄	東北大学工学部

(昭和39年11月1日～11月30日)

正会員

石橋 典彦	富士製鉄(株)広畑製鉄所
知野 英三	〃 〃
旭岡 達司	〃 〃
堀口 彰	〃 〃
大城 伸夫	〃 釜石製鉄所
長谷川拓二郎	〃 〃
戸来 昇	〃 中央研究所
長野 博太	住友金属工業(株)中央技術研究所
宮崎 富夫	〃 製鋼所
本島 久義	〃 和歌山製鉄所
岡本 和彦	八幡製鉄(株)戸畑製造所
田中 実	〃 〃
重松 石削	三菱製鋼(株)長崎製鋼所
谷口 義春	〃 〃
加藤 義信	日立造船(株)
時田 裕順	〃 〃
武田 正明	東洋鋼鉄(株)下松工場
宮本 安	〃 〃
細田 義郎	日本鋼管(株)
二瓶 正恭	(株)日立製作所
目代 允信	関東特殊製鋼(株)
萩原 卓	日新製鋼(株)
松田 明教	東京工業大学理工学部
蓮見 光雄	電気化学工業(株)
樋口 貞夫	石川島播磨重工業(株)
細井 秀夫	(株) 吾嬬製鋼所
賀川 直彦	(再)

丹野 勇 (再)
学 生 会 員
 大橋 恭輔 鉄鋼短期大学鉄鋼科
 工藤 紘一 //
 島津 勲 //
 初岡 延泰 //
 藤井 潔 //
 松本 俊男 //
 下荒地勝治 京都大学工学部
 中嶋 由行 //
 山口 進 //
 松本 千秋 秋田大学鉱山学部
 溝上 芳史 //

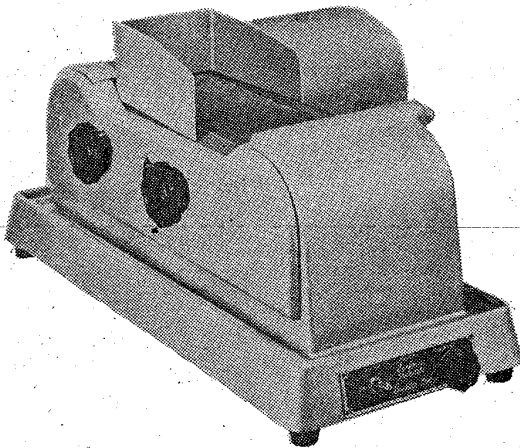
大宝 雄蔵 東京工業大学大学院金属工学科
 仲本 隆美 大阪工業大学工学部機械工学科
外 国 会 員

U.S.A.
 Jones & Laughlin Steel Corp.
 J. Robert Behrman Alan Wood Steel Co.
 T. F. Olt Armco Steel Corp.
 Clyde Williams Clyde Williams & Co.
Germany
 Hubert Hermanns Fachliteratur des
 Auslandes
 Rochling'sche Eisen- Gmbh Abt.
 und Stahlwerke Fachliteratur



Buehler Ltd.

16-1255



**サーフメット®
 ベルト・サーフエーサー**

研削作業の合理化
素晴らしい能率！ 清浄な作業！
サーフメット® が約束します

給水しながらの研削ですから ◎加工物が熱くならない
 ◎ベルトが目づまりしない
 ので研削速度は乾式の数倍に上ります。しかも研削粉が飛び散らないので空気がいつも清浄です——衛生的です。

米国ビューラー社は
 世界のメーカーです

その他の品目 { 試料切断機 · 水中切断機 · 試料埋込プレス
 自動研磨機 · 電解研磨装置 · 各種研磨剤研磨紙布

近畿・西日本地区代理店
八 洲 商 事 株 式 会 社

大阪市北区絹笠町50 電話 (363)2878・(312)3360
 九州営業所:北九州市八幡区白川町(佐藤ビル)電話(68)1488
 広島営業所:広島市上柳町55 電話(21)4818

米国ビューラー社日本総代理店
笠井商工株式会社

東京都大田区池上徳持町45番地
 電話 東京 (752) 0185 代表